



# ラムサールシンポジウム 2016

— 中海・宍道湖 —

2016年8月27日(土) – 29日(月)

米子全日空ホテル

[鳥取県米子市久米町53-2]

日程：2016年8月27日(土) – 29日(月)

場所：米子全日空ホテル[鳥取県米子市久米町53-2]

主催：日本国際湿地保全連合／ラムサールセンター／日本湿地学会／環境省／鳥取県／島根県

中海・宍道湖・大山圏域市長会／中海水鳥国際交流基金財団／ホシザキグリーン財団

協力：経団連自然保護協議会／ラムサール条約登録湿地関係市町村会議／ユースラムサールジャパン

後援：日本野鳥の会／くびきジオパーク推進協議会／ほか

目的：・ COP5 (1993年) 以降の日本におけるラムサール条約と湿地に関する取り組み、現状、課題のレビュー

・ これまでに国内で得られた湿地の保全と賢明な利用の経験・技術・手法等のとりまとめと共有

・ COP12で採択された「決議XII.9:CEPAプログラム2016-2024」の実施、とくに湿地管理者への支援と関係者の連携の強化(CEPAとはコミュニケーション・能力養成・教育・参加・普及啓発の総称)

・ 国内における湿地の賢明な利用のいっそうの促進

・ 2017年に開催が計画されているアジア湿地シンポジウムに本シンポジウムの結果を発表して議論を促進、さらに2018年のラムサール条約COP13(ドバイ)に両シンポジウムの結果を発信し、COP13における議論に貢献する

対象：日本のラムサール条約湿地及びその他の湿地の関係者、湿地の保全と賢明な利用に興味のある

研究者、NGO、学生、市民の方々

## 事例発表(口頭・ポスター)募集中／締切：2016年6月30日

詳しい申込方法や、申込フォームは、以下をごらんください。

<http://www.ramsar2016.org/proposal.html>

## 参加登録も受付中／早期登録締切：2016年7月31日

詳しくは以下をどうぞ

<http://www.ramsar2016.org/registration.html>

ふるってのご参加をお待ちしています。

### ラムサールシンポジウム2016実行委員会事務局

日本国際湿地保全連合

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3-7-3 NCC人形町ビル6F

Tel: 03-5614-2150 Fax: 03-6806-4187

[info@ramsar2016.org](mailto:info@ramsar2016.org)

<http://www.ramsar2016.org>



日本のラムサール条約湿地

# ラムサールシンポジウム2016 in 中海・宍道湖 2016年8月27日(土)―29日(月)

## プログラム(予定)

8月27日(土)	
午後	宍道湖フィールドエクスカージョン(申込制) ※午後2時 島根大学(松江)に集合の予定
午後7時～	懇親・交流会(米子全日空ホテル・申込制)
8月28日(日)	
午前9時30分～	開会式
午前10時～12時45分	特別セッション〈中海・宍道湖〉
	トークセッション：ゲスト：ルー大柴さん
	事例発表：中海・宍道湖の賢明な利用のさまざまな取り組み
午後2時～5時	セッション1：日本の湿地をとりまく状況はどう変わったか
	基調講演：島谷幸宏さん(九州大学大学院教授・日本湿地学会会長) テーマ：科学的、技術的観点からみた湿地の20年
	事例発表：(募集中です。締切：6月30日)
<b>〈セッション1キーワード〉</b> 法制度／管理・計画／開発・保全／共生・共存／生物多様性／保護区／再生・野生復帰／外来種／自然災害・防災・減災／関係自治体／ネットワーク・協働／NGO・NPO・市民活動／湿地の価値・人々の認識／ビジターセンター・拠点施設／フライウェイ／モニタリング／劣化・消失／気候変動／乾燥化・地盤沈下・水位変動／など	
午後5時～6時	ポスター発表セッション
8月29日(月)	
早朝	中海フィールドエクスカージョン(申込制)
午前9時～12時	セッション2：湿地を地域にどう役立てるか
	基調講演：鈴木耕平さん(宮城県大崎市産業政策課) テーマ：蕪栗沼・周辺水田、化女沼と大崎市の取り組み
	事例発表：(募集中です。締切：6月30日)
<b>〈セッション2 キーワード〉</b> 賢明な利用／湿地の恵み／産業・技術・文化／農業・漁業／観光・エコツーリズム／地域活性化・地域創生／協働取組／バードウォッチング・ホエールウォッチング・釣り／ビジターセンター・拠点施設／ラムサールブランド／伝統的知識・技術／野焼き／飲料水・水源／食文化／在来種／冬水田んぼ／フライウェイ／食害・獣害／総合的な学習・地域学習／など	
午後1時30分～4時30分	セッション3：湿地の管理に携わる人々の活動を強化するには
	基調講演：市川智子さん(東アジア・オーストラリア地域フライウェイパートナーシップ事務局) テーマ：水鳥の保全と湿地センターの役割
	事例発表：(募集中です。締切：6月30日)
<b>〈セッション3 キーワード〉</b> 住民参加／ビジターセンター・拠点施設／教材開発／研修・教育プログラム／関係市町村会議／NGO・NPO・市民団体／企業CSR／助成金(行政・民間・企業)／NGOネットワーク(地域型・タイプ型)／レンジャー・ファシリテーター／研究者・研究機関・コンサルタント／指定管理者団体／環境教育・ESD／子ども・ユース／情報発信(WEB・SNS・会報)／など	
午後4時45分～5時30分	まとめ
午後5時30分	閉会

■事例発表は右のページからお申込ください。 <http://www.ramsar2016.org/proposal.html>

■ラムサールシンポジウム2016のさらに詳しい情報はホームページをご覧ください。

<http://www.ramsar2016.org>

ramsar2016

検索

